



ルンドベック・ジャパン株式会社

東京都港区虎ノ門
四丁目 1 番 17 号 神谷町プライムプレイス
www.lundbeck.co.jp

Tel 070-7538-5301

E-mail yuok@lundbeck.com

Press Release

2020 年 10 月 1 日

報道関係各位

ルンドベック・ジャパン 自社 Web サイトに「世界メンタルヘルスデー特設サイト」を開設 ～10 月 10 日の『世界メンタルヘルスデー』にあわせた啓発活動を目的に～

ルンドベック・ジャパン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：クリストファー・ダール、以下「ルンドベック・ジャパン」）は、世界精神保健連盟（World Federation for Mental Health）が定める『世界メンタルヘルスデー(WMHD)』（10月 10日）にあわせ、自社 Web サイトに「世界メンタルヘルスデー特設サイト」を本日 10月 1日に開設しましたのでお知らせします。

The screenshot shows the Lundbeck Japan website's header with the company logo and navigation links for English/Japanese, global site, Japan, and log out. Below the header, there is a search bar and a link to the special page. The main content area features a large green ribbon graphic for World Mental Health Day. Text on the left discusses mental health issues and their impact on society. Two side boxes provide statistics: 'メンタルヘルス関連の疾病 7億9000万人' (700 million people affected by mental health diseases) and '2200億円の損失' (220 billion yen loss). At the bottom, a link provides the URL for the special page.

「世界メンタルヘルスデー特設サイト」ページ

<https://www.lundbeck.com/jp/jp/wmhd2020>

世界精神保健連盟（World Federation for Mental Health: <https://wfmh.global/>）は、毎年 10 月 10 日を世界メンタルヘルスデーと定め、世界各国でテーマに沿ったメンタルヘルスに関わる啓発活動が行われています。

今年 2020 年のテーマは「**Mental Health for All: Greater Investment – Greater Access**」

「すべての人のためのメンタルヘルス（精神的健康）-さらなる投資とアクセスの向上を」を実現するために、必要な投資を行い、だれもが適切な治療へアクセスできる社会を目指すという内容となっており、ルンドベックはグローバルでこの活動にコミットしています。

本「世界メンタルヘルスデー特設サイト」は、10月10日の『世界メンタルヘルスデー』に対する認知向上とメンタルヘルス関連情報の提供を目的として開設したもので、世界的な疾患負荷の現状や今後取り組むべき課題などをインフォグラフィックスによりわかりやすく整理するとともに、精神・神経疾患に特化し活動を続けているルンドベック社のコミットメントを紹介しています。

ルンドベックは、すべての人が最善の状態になれることを目指して、日々、脳の健康を回復することに力を注いでいます。

<ルンドベック（H.Lundbeck A/S）について>

ルンドベックは精神・神経疾患に特化したグローバル製薬企業です。70年以上にわたり精神・神経科学研究の最前線に立ち、日々すべての人が最善の状態になれることを目指して、ルンドベックの存在意義である脳の健康を回復することに注力しています。

世界で推定7億人を超える人々が精神・神経疾患を抱えて暮らしています。そしてあまりにも多くの人々が適切な治療を受けていない、偏見にさらされている、勤務日数が減少する、早期退職をせざるをえないなどの状況に苦しんでいます。

私たちルンドベックは日々、精神・神経疾患を患っている人々の治療の向上と、より良い生活のために努力を惜しません。その取り組みを「Progress in Mind」（プログレス・イン・マインド）と呼んでいます。

詳細については、<https://lundbeck.com/global/about-us/progress-in-mind>をご覧ください。

ルンドベックは、現在50カ国以上、約5,800人以上の社員を擁し、研究、開発、製造、マーケティング、販売に従事しています。また、製品は100カ国以上で販売されており、研究センターはデンマーク及びカリフォルニア、製造工場はデンマーク、フランス、イタリアにあります。

2019年の収益は170億デンマーククローネ（23億ユーロ、26億米ドル）でした。

ルンドベックに関する詳しい情報は、www.lundbeck.comをご覧ください。

<ルンドベック・ジャパンについて>

ルンドベック・ジャパンは、2001年に日本法人を設立、2019年にトリントリックス®のコ・プロモーションのため、コマーシャル本部を構築し営業活動を開始いたしました。精神・神経疾患領域に特化した製薬企業として、グローバルで蓄積した豊富な知識と知見をもとに、日本においても患者さんの治療向上とより良い生活に貢献するため取り組んでいます。ルンドベック・ジャパンに関する詳しい情報は、www.lundbeck.co.jpをご覧ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

ルンドベック・ジャパン株式会社 コミュニケーション&パブリックアフェアーズ 岡 幸恵

Email: yuok@lundbeck.com Tel: 070-7538-5301 Fax: 03-5733-8691

<参考 1> ルンドベックによる「すべての人のメンタルヘルス（精神的健康）」実現へのコミットメント

ルンドベックは、メンタルヘルス関連の疾病的治療改善に、たゆまぬ努力を続けています。そのために、研究助成や提携関係を通した研究支援、エビデンスに基づいた医学情報の提供を継続的に実施しています。

- **ルンドベック財団の拠出 79 億円**…ルンドベックの筆頭株主であるルンドベック財団は、毎年、脳をテーマとしたバイオメディカル研究に 7500 万米ドル（約 79 億円）の科学助成金を拠出しています。¹⁾
- **ブレイン・プライズ賞**…ルンドベック財団は、世界最大の脳研究の賞である「ブレイン・プライズ」（賞金額 150 万米ドル（約 1 億 5800 万円））を 2011 年に制定、「神経科学への卓越した貢献によって名声を得、現在も研究活動を行っている 1 人以上の科学者」に対し毎年授与しています。²⁾
- **2 万 5000 人の遺伝子データ**…2017 年に遺伝子検査企業「23andMe Inc.」および「Milken Institute」と提携関係を結び、大うつ病や双極性障害の原因理解を深めるために 2 万 5000 人の患者さんの遺伝子データを集積する初の研究を実施しました。³⁾
- **プログラム利用者 6 万 3200 人**…精神・神経領域における医療従事者の教育・研究機関である「ルンドベック・インスティテュート」の 2019 年プログラム利用者は 6 万 3200 人にのぼりました。⁴⁾
- **サイト訪問者 57 万人**…36 カ国で利用可能な精神・神経領域のアカデミックな医学情報を届けるウェブサイト「Progress in Mind リソースセンター」の 2019 年サイト訪問者は 57 万人に達しています。⁴⁾

参考文献:

- 1) <https://www.lundbeckfonden.com/en/>
- 2) <https://www.lundbeckfonden.com/en/thebrainprize/>
- 3) <https://investor.lundbeck.com/news-releases/news-release-details/lundbeck-collaborates-large-first-its-kind-study-links-between>
- 4) Google analytics – Data available upon request

<参考 2> ルンドベック・ジャパンでの『世界メンタルヘルステー』に向けた社内での活動

ルンドベック・ジャパンでは、社員が自社の医薬品の提供に関わるだけでなく、その疾患についてより深く知り、また患者さんそしてそれを支える関係者の方々をさらに理解するために、継続的な機会を持ちたいと考えています。『世界メンタルヘルステー』にあわせた取り組みとしては、全社員に世界メンタルヘルステーのロゴ入りマスクを作成・配布し、9 月、10 月の 2 か月間、社内や医療機関への訪問時などに着用し啓発しています。

